



翔 軽快なリズムでハードルを越えていけるか。



向 ▲緊張が伝わる。スタートに向かう女子100メートルの選手たち。



待 突然の土砂降り。濡れる選手。一時競技を中断し、30分後再開。



飛 バーを怖がっていたら決して自己ベストは生まれない走り高跳び。助走スピードを、いかに「高さ」に結びつけられるかが鍵となる。



競 最高に盛り上がった学校対抗400メートルリレー。ゴール直前のデッドヒート。



跳 ▲踏切板に向かって目いっぱい加速。体をのけぞらせ、一気に空中に飛び出した走り幅跳び。気持ちはずいぶん速くへ。
投 ▲ボールを握りしめ、全身を弓のようにしなせながら思い切り力を込めて投げる。白球が曇り空に見事な放物線を描いた。



魂

未来のアスリートたちの競演
はるか彼方にゴールテープ
自分に勝ちたい、自分を超えたい…
子どもたちの視線の先に
暑い夏の日差しを見た一

燃やせ

平成23年度榛原地区北地域小学校陸上競技大会
本川根小学校グラウンド・7月26日 午前8時30分

こがれの存在でもある。

代表というプライド、自分への挑戦

限界に挑みベストを尽くす夏
スターティングブロックに足を乗せ、「位置について」のかけ声とともに前を向く未来のアスリートたち。はるか彼方に目をやれば、ゴールテープが陽光に揺れていた。
町内各小学校の4から6年生が一堂に会し、記録を競い合う榛原地区北地域陸上競技大会は7月26日、本川根小学校で開かれた。午前7時半のグラウンドには、各校代表のユニフォームを身にまとった児童たちが姿を現し、おのおのがウオーミングアップを始めた。同大会は、榛原地区教育協会が主催。町内の小学生高学年を対象として年一回開かれている。児童の運動能力や技術力向上を目的とし、出場児童たちは、自己ベストを目指して競技に挑戦する。本大会が町内4小学校を対象として開かれるようになったのは平成20年。旧島田市と旧川根町が合併したことで今の運営形態に変更され、今年で4回目を迎える。種目は1100メートル、60メートル、400メートル、1500メートル、4000メートル、10000メートルのトラック競技5種目と1走り高跳び、2走り幅跳び、3ボール投げのフィールド競技3種目が実施される。本格的な競技の数々に子どもたちが真つ向から挑む。町内の小学生にとって最も大きな陸上競技大会であり、各校を代表する選手たちは、下級生のあ



耐 トラックを周回する長距離走。自分との我慢比べの果てに…。



援 声を枯らして仲間を応援する選手。祈りにも似た表情で競技を見つめる。このあと仲間が出した好記録に喜びがはじけた。



支 大会スタッフ。細心の注意で競技進行を見守った。



挑 ゴールを目指してスタートを切る短距離ランナーたち。ライバルと競い合う瞬間、それと同時に、自分自身に挑戦する瞬間でもある。